

## 教育振興基本計画（抜粋）

### 第3章 枚方市の教育がめざすもの

我が国においては、高齢者人口が増大する一方で生産年齢人口は減少し続けるなど、世界の中でもまれに見る速さで少子高齢化が進んでいます。また、グローバル化の進展に伴う国際競争の激化や人、物、情報の国境を越えた交流・流通が活発となっています。

こうした厳しい時代を生き抜くためには、自らの手で人生を切り拓くとともに、多様な価値観が存在することを理解し、それを踏まえて他者と共生していくことが求められており、子どもたちが十分な知識や技能を身に付け、思考力や判断力、表現力を磨き、多様な人々と協働することができるよう、子どもの能力や可能性を引き出すとともに自信を育む教育の実現が急務となっています。

以上のことを踏まえるとともに、これまで本市が進めてきた教育の現状や課題を分析・評価する中で、次の3点をこれからの枚方市のめざすべき教育とします。

- ①知（確かな学力）、徳（豊かな人間性）、体（健康・体力）の調和のとれた「生きる力」を育み、子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす学校教育を充実させること
- ②子どもたちが学ぶ楽しさを感じながら、安全に安心して学校での生活が送れるよう、子どもの安全対策やいじめの未然防止、貧困対策など学びのセーフティネットを構築するとともに、老朽化した学校施設の更新など教育環境を充実させること
- ③一人ひとりの市民が生きていくために必要な基礎的な知識や技術等について学べる機会の提供や、知の源泉となる図書館の充実、文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりなど、人とまちを支える社会教育を推進すること

これらの3点を着実に進め、枚方市のめざすべき教育の実現を図るため、平成28年度を始期とする平成39年度までの教育目標を定めます。

教育目標は、3点の枚方市のめざすべき教育に加え、今後、新しい時代を生きる上で必要な資質・能力を確実に育むこれからの教育の方向性も踏まえ、設定します。